

議会だより ひらいずみ

第182号

令和6年1月30日

定例会12月会議

平泉で農業がしたくて

産直に出荷するいちご栽培に取り組む、埼玉県出身の石川圭さん。
結婚を機に、夫の智之さんと平泉で農業を始めました。
(関連記事P20)

●主な内容

- ワークショップ開催
届け、子育て世代の声……………2
- 平泉で暮らし続けるために……………4
- 定例会12月会議
更なる子育て支援充実へ……………6
- 一般質問
ここが聞きたい
7名の議員が町の考えを問う…11



議会だよりひらいずみ 182号 発行/平泉町議会 編集/議会広報編集特別委員会 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL 0191-34-5595 HP <https://www.town.hiraizumi.iwate.jp>



平泉町議会

議長	高橋 拓生
副議長	升沢 博子
議員	千葉勝男 阿部圭二 佐藤孝悟 氷室裕史 高橋伸二 猪岡須夫 真籠光幸 稲葉 正 三枚山光裕 大友仁子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、コロナ禍の長期化に加え、猛暑や大雨などの異常気象によって、町民の皆様の生活に大きな影響を与え、大変な年となりました。町民の皆様の安心・安全な暮らしを守るため、議会と行政が一体となって、災害対策を強化し、町の皆様とともに、災害に強いまちづくりを進めます。また、子育てや教育、高齢者の生きがいづくり、産業の振興など、町の課題解決にも力を尽くし、町民の皆様の幸せを実現します。本年は、町議会議員としての任期が満了となります。4月には新たな議会が構成されますが、二元代表制の一翼を担う機関として、引き続き皆様の声を大切に、町政の健全な発展と町民の皆様の幸せのために、全力で取り組んでまいります。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

年頭にあたって

表紙の紹介



夢が膨らむ石川さん

東京の農業コンサル系のベンチャー会社で夫の智之さんと出会った圭さんは、3年前、結婚を機に

農業に夢を託して

智之さんの故郷右手で農業研修に入りました。昨年からは平泉でナスのハウス栽培に取り組み、今後は「いちご園の摘み取り体験」等を企画したいと思っています。将来的にはナス栽培の他に春には野菜づくり、夏にはとうもろこし栽培と夢は広がります。

あとがき

能登半島地震や新型コロナウイルス、インフルエンザなど、世界の不安定な情勢や経済の課題によって心が痛みます。自然の力の前には、人間の力が及ばないこと

を痛感しますが、こんな時こそ未来に明るい希望を持つことが大切です。AIチャットが新たな時代のスタートを切っています。私たちの生活やコミュニケーションがますます便利になることを楽しみに、未来への希望を

持ちながら、一歩ずつ前に進んでいきましよう！

編集スタッフ

委員長	阿部 圭二
副委員長	稲葉 正
委員	升沢 博子
委員	氷室 裕史
委員	大友 仁子

稲葉 正

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

届け、子育て世代の声



町議会では、直接町民の皆様のご意見や提言を伺い、今後の議会審議に活用することを目的にワークショップ方式による懇談を行いました。



住民に寄り添う まちづくりを

相互の情報発信の場を

- 単方向の情報提供ではなく、相互の考えを共有できる機会が必要ではないか。
- 今後は町民がより一層、直接伝えたいことを伝えられる機会が必要ではないか。

子どもの居場所の確保を

- 町内で遊具のある施設は、保育園の庭園だけで休日は未開放である。
- 遊び場所も学校の校庭や観自在王院跡だけとなり、子どもたちの居場所は減少している。
- 子どもの居場所の確保が急務ではないか。

町民と議会との懇談会 (ワークショップ) テーマ「子育て支援 施策について」

- 平泉の子育て支援施策について思うこと
- 実際に子育てをされていて困っていること
- 学校を含めた子育て環境について思うこと

と き： 令和5年11月20日(月) 午後6時30分～
と ころ： 平泉町役場 201 会議室

交通手段の充実

- エピカ等で様々なイベントがあるが、共働き家庭では送迎の都合で諦めてしまうこともある。
- 今後の部活動の地域移行など、家庭の送迎の負担が増加するのではないかと不安である。

総括

今回、初の試みとなった町民とのワークショップ型の懇談会でしたが、従来の町民と議員が机を挟む型から、机を囲んで課題について町民が議員と共に話し合うワークショップ型の町民懇談会に変わり、参加者からも非常に好評でした。今後同じような機会を設けてほしいという意見がありました。

総務教民常任委員会

では、10月10日から12日の日程で新潟県の阿賀町、新発田市、上越市へ子育て支援施策の視察研修を行いました。

阿賀町では子育て世代家庭へのゴミ袋の提供等、独自性のある子育て支援施策を、新発田市では民間の協力を得て「子育て応援カード」を活用する子育て支援事業について学びました。上越市では子どもの権利を明らかにし、それを子どもたちに伝える「子どもの権利条例」を学ぶことができました。

当委員会では今回のワークショップと研修を今後の提言に反映していきたいと考えます。



住民に優しい町へ

- 子育て環境の根底には世界遺産基準による課題があるのではないかと。新築等に規制がかかり、人口流出が加速している。世界遺産も大事だが住民に優しい町であってほしい。



だれにでも やさしい町に！



町民にも、観光客にもやさしい町に
 ○公園がなく、子どもの居場所がない。スマートインター駐車場は半分を公園にしてほしい。
 ○買い物難民、外食難民への対策を考えてほしい。

環境整備活動は
 ○高齢化が進み、草刈りなどが困難になってきている。若い世代のコミュニティづくりが必要である。



初めてのワークショップ

対面方式の議会報告会から、ひざを突き合わせたワークショップは、委員会にとって初めてのことで戸惑いもありました。
 しかし、どのグループも終始和やかで笑い声も響き、皆さんの本音を聞くことができました。前例にとらわれず、「生の声を聞き、町政に活かす」この方法を、続けていければと思っています。

平泉の価値を

○地元工務店の伝統的建築技術の価値へ理解が望まれる。町民も平泉へのこだわり、町民プライドを高める努力をすべきでは。

景観条例の見直しを

○規制が厳しすぎて、家を建てる際の高いハードルになっている。補修でも現状変更になる。条例についての明確な説明が欲しい。

テーマ「住環境の向上について」

- 世界遺産に相応しい街並み とは
- 暮らしやすい住まいの環境 とは
- 空き家の活かし方

と き： 令和5年11月24日（金）
 午後6時30分～
 と ころ： 平泉町役場 201 会議室

空き家の増加は

○手入れのされていない空き家が増えている。「空き家バンク」の要件見直しと、専門家による「サポート窓口」が必要である。乏しい賃貸物件に空き家を活用してはどうか。

リフォーム助成を

○地元の大工さんをもっと利用してほしい。それが地域循環に繋がる。

発掘の必要性は

○長年住んでいた建物、建て直しの際の発掘は必要ないのでは。

水道事業の広域化は必要か…令和5年度産業建設常任委員会の調査

住民生活や経済活動に必要なライフラインとしての水道事業、農業振興策及び観光振興策について視察研修を行いました。

実施年月日：令和5年10月23日～25日

実施場所：長野県長野市・群馬県太田市・埼玉県川越市

実施内容：長野市（水道事業）（農福連携）、太田市（水道事業）、川越市（観光町づくり）

【視察から見てきたこと】

水道事業の広域化については、広域化後の水の安全性、水道料金の値上げ、簡易水道は除外などの課題が残りました。長野市農業公社の農業と福祉の連携効果や、川越の昔の家並みを活かした町づくりなど、所管調査の政策提言に向けた重要な研修となりました。



更なる子育て支援充実へ

議案第51号 町税条例の改正

国民健康保険税の資産割廃止

①国保税の税率改正（4方式から3方式へ変更）

令和6年4月1日から改正

4方式	所得割	加入者の所得に応じて算出	3方式	所得割	加入者の所得に応じて算出
	資産割	固定資産税額に応じて算出		均等割	加入者1人当たりの金額
	均等割	加入者1人当たりの金額		平等割	1世帯当たりの金額
	平等割	1世帯当たりの金額			

②産前産後期間相当分の国保税免除（所得割及び均等割）

令和6年1月1日から改正



問 資産割の対象と滞納は。

答 1013世帯のうち561世帯の55%が対象となる。令和4年度の国保の滞納は870万円となり、分納など納税相談を行っている。

問 国保の全県統一と財源は。

答 完全統一は令和12年度以降で検討されている。令和4年度から財政調整基金を取崩し、令和5年度から令和8年度まで2000万円から2500万円の繰入れを予定している。

資産割は低所得者層の負担となっていることから、廃止には賛成であるが、国保制度が複雑で理解できない町民が多いので、周知の場を設けて欲しい。
沼田 光志さん（平泉字泉屋）



町民の声

反対です	討論	賛成です
<p>増税以外の選択を 三枚山 光裕 議員</p> <p>家族構成によっては資産割世帯も増税になる。財政調整基金の残額が多い。医療費削減の努力など、増税の前にやるべきことがある。</p>	<p>議案第51号 町税条例の改正</p>	<p>格差是正へ 升沢 博子 議員</p> <p>格差是正に繋がる保険料体系への移行は、必要である。 国保財政の厳しさを懸念しつつも、町民への丁寧な説明を求めて賛成する。</p>

議案第46号 課設置条例の改正

念願の子育て支援業務一本化

①子育て支援課の新設（令和6年4月1日設置）

町民福祉課と保健センターが行っている児童福祉及び母子保健業務を一体的に運営し、妊婦を含めた子育て世代を一元的に支援する「子育て支援課」を新設。

課内に相談支援を行う「こども家庭センター」を設置。

②町長部局の定数を90人→92人に変更



改修される保健センターの2階

問 子育て支援課のこども家庭センターとは。

答 児童育成の拠点として各課と協議しながら4月1日に開設する。新たにサポートプラン作成や子育て世帯訪問を行う。

問 新たな役職である統括支援員の役割は。

答 課長補佐級の保健師を配置予定とし、センター長の下で母子保健や児童福祉、双方に十分な見識をもって調整にあたる。

問 子育て支援課の新設による職員数への影響は。

答 新たな課の設置による2名の増員で、様々な角度から子育てを支援し、人口減少をいづらかでも緩やかにしたい。

12月会議は、12月7日から14日までの会期で開催され、条例案件7件、事件案件1件、補正予算案件9件、合計17件を議決しました。一般質問には7名の議員が町の考えをたどりました。

定例会12月会議

こども家庭センターが設置されて便利になる事は良い事です。妻も喜びます。

葛西 秀明さん
（長島字滝の沢）



町民の声

皆さんからの請願を審査しました

請願第4号 私学教育を充実・発展させるための請願

● 請願者 私学助成をすすめる岩手の会

反対です

経済的な問題は生じていない

大友 仁子 議員

私立高校には公立とは異なった建学精神がある。また、近年岩手県内で私立高校を経済的な問題で退学・中退した例はない。

討論

賛成です

私学の役割りに理解を

三枚山 光裕 議員

高校への進学率を考慮すれば、高校も実質的に義務教育と言える。また、公立高校では担えない役割も担っていることから賛成すべきである。

税の使途を適正に

真筈 光幸 議員

請願の主旨は教育の格差解消であり、私立高校の施設等へ際限なく助成を行うことは、税の使途として正しいものではない。

教育機会に公平性を

阿部 圭二 議員

子どもが本当に学びたい高校へ通うためにも本請願には賛成するものである。

採決の結果、賛成多数で**採択**され、国・県へ意見書を提出しました。

感情を込めて真剣に質問している議員が印象に残った

中学生55名が町議会を傍聴！

理解できるまで何度も質問するやり方に驚いた

熱意をもって議論に参加している

私たちが平泉の魅力発信していきたい



町のために他の市町村の取り組みを踏まえて多方面から話し、両者が歩み寄りより良い案を話し合っていた。私たちの話し合いもそうしたい。

12月7日、平泉中学校3年生の55名の生徒の皆さんが、本会議を傍聴し、議員と町長をはじめとする執行部とのやり取りに熱心に耳を傾けていました。今回の傍聴をきっかけに町政に興味を持っていただければと思います。

町政の一翼を担う町議会として、よりよい平泉町を未来へつなぐため、さまざまな課題について広い視野と先を見据えた議論を重ねてまいります。



議場に入りきれないため、傍聴室(モニター傍聴)と議場を交代しながらの傍聴となりました。

議案第54号 一般会計補正予算(7号)

子育て支援課開設へ

問 備品購入費800万9000円の内訳は。

答 子育て支援課開設に伴い、事務机、椅子、カウンター、相談テーブル等である。

農地の管理は

問 多面的機能支払い交付金、返還金が発生した要因は。

答 令和2年度と3年度に協定に適用しない土地への変更が生じたためである。

省エネ家電買換補助金は

問 テレビ、冷蔵庫、エアコンの買換補助金申し込み期限の再延長の考えはないか。

答 12月28日が申し込み期限となっており、再延長は考えていない。

施設整備へ

問 長島球場スコアボード設計業務委託料352万2000円の内容は。

答 スコアボードは、設置から33年経過し今年9月に故障した。工事費を確定させるための費用である。



改修されるスコアボード(長島球場)



令和5年度補正予算

会 計		補 正 額	補正後予算額
一	般 会 計 (第6号)	697万円	52億2746万円
一	般 会 計 (第7号)	8183万円	53億929万円
一	般 会 計 (第8号)	4700万円	53億5629万円
	国民健康保険会計(第2号)	23万円	8億1577万円
	後期高齢者医療会計(第2号)	54万円	9901万円
	健康福祉交流館会計(第2号)	215万円	8836万円
	町営駐車場会計(第3号)	△81万円	7193万円
	下水道事業会計(第1号)	収益的支出 △15万円	2億7520万円
	水道事業会計(第1号)	収益的支出 △99万円	2億8012万円
		資本的支出 5万円	1億6849万円

※単位未満を四捨五入しています。

ここが聞きたい!

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、議員が執行機関である町長などに
対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題に
ついて問うものです。

平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を
行います。

P12 氷室 裕史 議員

- ①道の駅への加工品の出品体制
- ②平泉町の水道水の現状

P13 大友 仁子 議員

- ①奨学金返還支援制度「全額肩代わり」の推進
- ②道の駅の防災拠点としての強化と地方創生の推進力としての活用

P14 升沢 博子 議員

- ①特定地域づくり事業の推進と地域おこし協力隊
- ②観光事業の展望

P15 高橋 伸二 議員

- ①「観光振興計画」と新たな「ひらいずみ観光の魅力の発掘」
- ②「自治体DX推進」と新たな業務フローの導入

P16 三枚山 光裕 議員

- ①国民健康保険税
- ②公園整備と子どもの居場所

P17 阿部 圭二 議員

- ①学校給食
- ②带状疱疹ワクチン接種費用の助成事業
- ③中小事業者への支援

P18 稲葉 正 議員

- ①町道中尊寺通り線及び駅前周辺の安全と活性化
- ②花立ため池の課題
- ③伽羅御所看板からガイダンスセンターへの通路

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。

※各議員の質問ページの氏名隣のQRコードから、個人の質問の内容がご覧いただけます。



姉妹都市 田辺から学ぶ

11月6日から8日までの日程で、和歌山県田辺市、大阪府堺市、大阪市の視察を行いました。

田辺市は世界遺産と世界農業遺産に認定されています。

また、SDGsによる里山の保全、人材の育成や関係人口を増やす取り組みなどで地域課題と経済の両立を目指しています。市長や関係者との懇談から多くを学び、一般質問や提言などに活かしていきたいと考えています。



議長交際費を公表します

10月分	3万300円 (祝賀会、交流会費など)
11月分	7000円 (祝賀会会費)
12月分	7000円 (会費など)



※詳細はHPをご覧ください。

本会議を傍聴してみませんか?

議会定例会 3月会議は
3月5日(火)~14日(木)
開催予定です

※本会議はインターネットでも生中継しています。



議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

議会定例会 12月会議 (12月7日~14日)

議案番号	議案及び内容	関連ページ
条例改正		
第46号	課設置条例の一部改正 (令和6年4月から子育て支援課を設置)	6
第47号	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例(申請・届出、その他の手続きについて、電子情報処理組織を使用可能にする)	
第48号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正 (スマートフォンを使用してコンビニ等に設置されている端末機から証明書を取得できるように整備)	
第49号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 (給料月額、期末手当・勤勉手当の引き上げ)	
第50号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 (期末手当の引き上げ)	
第51号	町税条例の一部改正 (産前産後の国保税の一部免除、国保税を4方式から3方式へ変更)	7
第61号	手数料条例の一部改正 (電子証明書提供認識別符号の発行などに関する手数料)	
事件案件		
第52号	指定管理者の指定 (農産加工直売施設「あやめ」の指定管理を、R6.4~R11.3まで、農事組合法人アグリ平泉へ委託)	
請願		
第3号	私学教育を充実・発展させるための	9

議案番号	議案及び内容	関連ページ
令和5年度補正予算		
第53号	一般会計(第6号)(保健センター改修費を697万円追加し、3103万円に)	8
第54号	一般会計(第7号)(職員人件費2776万円、子育て支援課備品801万円、キャッシュレス決済活用補助246万円、災害復旧費1032万円、農地災害補助300万円増など)	8
第62号	一般会計(第8号) (電気・ガス・食料品等の価格高騰に対する低所得世帯に対する補助4700万円)	8
第55号	国民健康保険会計補正予算(第2号) (システム改修費13万円増など)	8
第56号	後期高齢者医療会計補正予算(第2号) (広域連合納付金54万円増)	8
第57号	健康福祉交流館会計補正予算(第2号) (報酬・給料など215万円増)	8
第58号	町営駐車場会計補正予算(第3号) (区画線工事費の減額など)	8
第59号	下水道事業会計補正予算(第1号) (人件費の減)	8
第60号	水道事業会計補正予算(第1号) (償還金172万円の減など)	8
議員発議		
第9号	パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議	
第10号	私学助成の充実を求める意見書の提出 (過疎地域の私立高校に対する特別助成増額を含めた充実)	9

議会定例会 1月会議(令和6年1月5日) 会期の決定 令和6年1月5日(金)~3月29日(金)(85日間)

※町議会議員の任期満了日が令和6年4月14日のため、令和6年の定例会は2回となります。(1月~3月、4月~12月)

議案	賛否のあった議題													採決結果		
	議員名	大友仁子	稲葉正	猪岡須夫	氷室裕史	阿部圭二	三枚山光裕	真筆光幸	高橋伸二	佐藤孝悟	千葉勝男	升沢博子	高橋拓生	賛成	反対	採決結果
議案第49号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案第51号 町税条例の一部改正	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	8	3	可決
議案第54号 一般会計補正予算(第7号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案第57号 健康福祉交流館会計補正予算(第2号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
請願第3号 私学教育を充実・発展させるための請願	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	8	3	可決
発議第10号 私学助成の充実を求める意見書の提出	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	8	3	採択

※採決に議長は参加していません。

議会だより(182号)で使用した用語の解説

請願(9、10ページ)……町民のみなさんの町政への要望は、請願として町議会に提出することができます。請願を提出する際には紹介議員が必要です。請願は、関係する常任委員会で審査され、その後本会議で採択か不採択かが決められます。採択された請願で、町だけでは解決できないものは、国や県などに意見書として送付され、その実現に努力するよう求めます。

決議(10ページ)……町議会の意思を対外的に表明することが必要である場合になされる議決のことをいいます。

※上記の用語は、()内の各ページで、網掛け表示()をしています。





水室 裕史 議員

水道水の水質改善は

答 機器の更新時期に検討したい



問 過去に町が水質改善に向けて取り組んだ経緯は。

建設水道課 課長 平成17年に平泉浄水場の浄水方法について検討を行った。原水の水質分析と上水の水質分析から良好な処理が行われていると結果が出ている。硬度を低減するためには新たな施設の導入が必要であるとの結果も出ている。

問 水道水の水質をどう捉えているか、また改善策等は考えているのか。

町長 水質は国の基準に従い、問題はないと考える。しかし、平泉水源と長島水源はミネラル分が多い硬水であり、にがみや渋みが強くなる傾向がある。またポット等の内側にこびりつく蒸発残留物も水質硬度

が高いほど付着しやすい。水質硬度は水源の地質に由来しているが、浄水場で一定程度、ろ過し蒸発残留物を除去している。改善策として高度処理施設や硬度低減化施設の導入が考えられるが、県内の導入例はなく、導入コストも10億円程度はかかると思われる。



蒸発残留物による目詰まり

問 浄水場が戸河内、平泉、長島に3か所あり、平泉浄水場に関しては昭和55年に造られている。近い将来に改修が考えら

れるが、その際に浄水能力等も改善できるのではないか。

答 今後も体制を整えていく

道の駅への出品体制は

問 今後、道の駅への加工品の出品を考える方が現れた際に、自前で製造室を用意することは非常に困難である。町としての対応を伺う。

農林振興課 課長 農産物加工直売施設「あやめ」を改修して使うことが可能である。また、既に加工品製造出品の許可をとっているグループに加入してもらう形も考えられる。

問 小中学校の調理実習等に道の

建設水道課 課長 将来的に使用水量の減少も見込まれるが、駅に加工品を出品している方々を講師として招いてはどうか。家庭の味、平泉町の食文化の継承を含めた未来の出品者の子どもたちへのきっかけ作りとして検討できないか。

教育次長 調理実習は、家庭科の一環として学習指導要領等に基づいて設定したカリキュラムに沿って行われているため、今後、他の事例等を参考にし、学校等と検討する機会を設けたい。

他県の方は平泉町の水のイメージを「澄んだおいしい水」と想像する方が多いです。いつかは澄んだおいしい水で平泉町の食文化をより良い形で継承していければと思います。

議員のひとりごと



「あやめ」の持つ役割も大きい

機器のコンパクト化に併せて適切な機器への更新は検討していきたい。



大友 仁子 議員

奨学金返還支援制度の推進は

答 効果的であるか検証する

問 奨学金の返済に苦しんでいる若者の負担を軽減し、地方定着を促す奨学金返還支援制度を実施すべきではないか。

町長 令和4年6月現在、全国で615市町村が導入し、移住定住を促進する施策であると認識している。今後、効果を調査していきたい。

問 大学生の2人に1人、年間128万人が奨学金制度を利用している。

奨学金は月々の返済の負担額が多く、返済に悩みを抱えている。高知県佐川町では、令和4年度から、町に10年以上定住する意思のある者等を条件として奨学金返還支援制度を実施した。その結果、23人が新たに移住した。この事例を踏まえての見解は。

問 国の奨学金返還支援制度の改定目的は、対象要件を緩和し、地方創生や若者の負担軽減を行うことである。対象者の門戸を開くことが、大切だと思いが見解は。

まちづくり推進課長 特に必要な人材等について、支援を厚くするなど、様々な方法を検討したいと思う。

まちづくり推進課長 多くの自治体が奨学金返還支援制度を取り入れており、佐川町の事例も含めて調査し、どのような支援が良いのか検討したい。

人口減少、少子高齢化であるが、「世界文化遺産」「日本農業遺産」の平泉町を誇りに、新たな観光の呼び水となる施策が重要と考える。

道の駅の役割と今後の展望は

答 防災拠点と観光の起点とする

問 災害時に道の駅はどのように活用されるのか。

町長 防災拠点としての機能を併せ持ち、町民や来訪者の一時的な避難場所に指定している。断水時には、直接下水道に排泄できるトイレが設置され、大型受水槽の設置により水源を確保

問 隣接しているガイダンスセンターとの連携した利用状況は。

町長 混雑時には駐車場を共有するほか、相互のイベントのポスターやチラシを施設に配架し、情報発信に取り組み、観光の起点としている。

問 子育て支援施設の併設や、あらゆる世代が活用できる環境を作ることが大事と考えるが見解は。

町長 町で施設の拡充や新たな施設を併設する場合は、レストランや産直施設の一部を減らして設置する必要があり、施設の併設、拡充は困難である。

議員のひとりごと



役割増す「道の駅 平泉」



議員 升 沢 博 子

地域おこし協力隊の活動状況は

答 意欲的に取り組んでいる



問 担い手の確保に事業者が組合を設立、働き手を融通しあう制度「特定地域づくり事業」があるが、取り組みの考えはないか。

町長 安定して仕事を確保できることで、若者の定着、移住、Uターン後の仕事の確保にメリットがある。組合の設立の要件などを検討する。

問 地域おこし協力隊の活動状況は。

町長 本年4月に着任した地域おこし協力隊員3名は、町の農産物を活用した加工品の開発や町内の交流拠点となるカフェ開業の準備、また、町の情報発信アプリの開発など、意欲的に取り組んでいる。

問 先行事例を見ると失敗例もあり、隊員を孤立させないような伴走型の支援を行っている例もあるが、支援の考えは。

まちづくり推進課長 来年度新たに3名を募集しており、「いわて地域おこし協力隊ネットワーク」も活用し、生活基盤の充実や隊員の活動が円滑に進められるよう、サポート体制の強化に取り組んでいく。

問 観光客が増加しているが、るんるんバスの減便など、二次交通不足への対応は。

町長 深刻な運転手不足により、るんるんバスの運行は増便の見通しは立たない。11月に東北運輸局と二次交通対策について意見交換し、るんるんバスの運行形

観光事業の展望は

答 9000年事業に取り組む

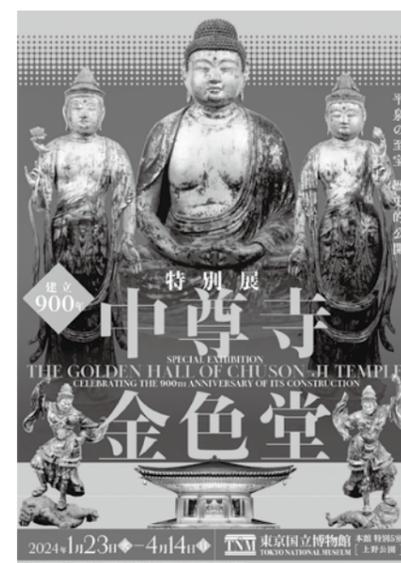
町長 3年計画で観光協会に委託、整備に取り組む。

問 ガイダンス施設への誘導表示がなく、施設の入り口がわかりづらいのではないか。

観光商工課長 指定管理団体に要望していきたい。

若者はスマホで検索だが、駅前案内所ではまだ紙のパンフの需要が多い。そして、笑顔のご案内も喜ばれるのでは。

議員のひとりごと



開催を機に観光事業の飛躍を

態の改善や他の交通機関の検討も重ねている。徒歩やレンタサイクルによる周遊も平泉の魅力として推奨していきたい。

町長 令和8年には「中尊寺落慶供養900年」、令和9年には「清衡公御遠忌」と続くことから「9000年事業」として一体的に取り組む。

町長 令和8年には「中尊寺落慶供養900年」、令和9年には「清衡公御遠忌」と続くことから「9000年事業」として一体的に取り組む。

問 平泉駅に柳之御所ガイダンス施設、道の駅への案内板、表示が足りないのではないか。

問 デジタル技術の活用は、人口減少への対応と町民生活の利便性の向上、地域課題の解決につながる。早急の対応を願うがどうか。

総務課長 本年度の試行も考えたが、ドローンの具体的な活用事業等、条件が整っていない事から次年度に向けて課題を整理して対応することとしている。

問 各課が所管する業務のデジタル化に向けた事業や意見以外にも、農地利用最適化推進委員の現地調査の支援対応や、各集落の中山間地事業にも活用の範囲が拡大できるのではないか。

町長 提案された部分も含めて、すぐ取り組むもの、時間の必要なもの等を精査し、自治体DX推進本部長として、しっかりと指示し取り組む。



議員 高 橋 伸 二

問 新たな平泉観光の発掘に景勝地「音羽山」を資源として活用できないか。

町長 日本農業遺産と関連付け、魅力あるコンテンツの一つとして活用が考えられる。

問 音羽山が持つ魅力の発掘と活用をいかに進めるか。



町長 その方の存在は承知している。一関・奥州市と平泉町が今後、地域を発信していく意味でも大きな一歩だったと思う。その方の「心」も組み入れながら今後の推進計画に織り込んでいきたい。



音羽山・山頂標識

答 観光資源として活用できる

観光商工課長 音羽山の現地調査、確認を行い、取り組み方針を決める。

問 音羽山の景観を黙々と守り続けている一人の老人の存在を町は把握しているか。

町長 その方の存在は承知している。一関・奥州市と平泉町が今後、地域を発信していく意味でも大きな一歩だったと思う。

問 音羽山を自然観光資源・施設として、行政が適切に維持管理を行う義務があるのではないか。

農林振興課長 慈善事業でここまで整備していただいたことは、大変申し訳なくありがたい。整備方法など、この方の話を伺いながら、今後は町で維持管理を行っていく。

農業用ドローンの導入計画は

答 次年度以降の導入を検討

問 町のデジタルツールの活用は、住民サービスの向上と新たな業務フローによる業務の効率化につながるものが求められているのではないか。

町長 新たな業務フローの導入として、次年度以降にドローンの導入を検討している。

問 中山間地事業の完了検査に職員が費やしている時間と労力の軽減、経費の削減効果は、ドローン導入自治体のデータを引用して試算すると一目瞭然ではないか。

総務課長 業務の効率化につながる事は理解できる。出来るだけ早期に課題を解決しながら、関

町民みんなに音羽山の存在と魅力を知ってほしい。山に足を運んで、自然と眺望に接し、郷土を愛してほしいと願う。

議員のひとりごと



三枚山光裕 議員

国保の県統一と町の税率改正は

答 3方式の賦課へ、税率を改正する

問 岩手県の統一保険料について、県の「第3期運営方針構成(案)」について概要を伺う。

町長

国保税の賦課方式が所得割、資産割、均等割、平等割で計算する4方式と、資産割を除いた3方式と、市町村で異なる。県内全体が3方式に統一する課題がある。賦課方式を3方式に統一すること、事業納付金を統一する検討が進められ、特定検診実施率の向上など医療費適正化対策を進めていくことが検討されている。

町長

保険税率の統一を見据



平泉町民も利用する萩荘の公園

児童館廃止後の対応は

答 意見を聞き検討したい

問 公園整備の具体的な検討の進捗状況は。

町長

大型遊具等を設置した公園は、スマートインターチエンジン周辺開発

の中で、商業施設等の開発と合わせて整備する方向で検討している。子どもの身近な遊び場としての公園は、子育てニーズ調査の実施など、子育て世代からの意見や要望を聞き、方向性を検討する。

問

志羅山児童館が廃止され「子どもたちの居場所がなくなった」との声がでている。認識と対策を伺う。

町長

地域懇談会で、志羅山児童館廃止後の子どもたちの居場所の確保や子育て世代のための遊べる公園の整備等について意見や要望が出されている。

後ろにいた議長は見えていただろなあ？国保の条例改正の反対討論。質疑を踏まえての討論だから原稿が無い。演壇でノートやらメモや資料をガサゴソしながら。

議員のひとりごと

学校給食の自校方式は

答 当面、継続していく

問 学校給食を無償化する自治体が全国、県内でも増えている。実施すべきではないか。

教育長

学校給食無償化は子育て世帯の負担軽減を図る目的で増えているようだ。国でも「二〇二〇年戦略方針」で触れて実態調査を始めている。財源の確保が課題だが、国の動向を注視

問 学校給食の自校方式は安全安心の方式で、今後も続けるべきと思う

教育長

平泉・長島小学校では、自校方式の給食を提供している。今後も、自校方式を継続することに伴う維持管理費の問題や食料費の高騰など、コスト面での課題もあるが、自校方式を継続することは、地元生産者との交流や体験



阿部圭二 議員

更新・修繕をしてきた小学校給食室



更新・修繕をしてきた小学校給食室

接種助成年齢の引き下げは

答 一関市や医師会の協議が必要



ワクチン接種で予防を

は水疱瘡のワクチンで、50歳以上の方に対する带状疱疹の予防を目的に接種できるようになった。予防接種法に規定されていない任意ワクチンで、自己負担となっている。ワクチン接種への費用助成は、65歳から5歳刻み1回4000円で、生活保護世帯は生ワクチンに限り、全額町が負担をする。61人が接種し、接種率は10%である。今後の接種状況を見ながら課題を把握していく。

問

助成対象年齢の引き下げなど、事業の拡充が必要ではないか。

家を建てるのも大変、若い人が住みやすい環境を作る必要がある。他のまちと差を付けるためにも学校給食費の無償化を武器に。

議員のひとりごと

その他の質問
・中小事業者への支援

町長 事業の引き下げは、一関市、一関市医師会との協議が必要なことから、事業の実施状況や県内の動向も注視していきたい。広報等で周知を行いながら情報提供していきたい。



いなば 剛 議員

中尊寺通りの安全と活性化は

答 地域住民と協議していく



問 深夜のLED灯は電気のムダではないか。

町長 点灯時間を調整し、電料金の節減に努める。

問 電気料金の負担は。

町長 駅前から高館橋へ向う丁字路までは県道で、月当りの電気料は約3万円、町道分は約1万5000円となる。

問 夜間駅前の足元が暗いが、防犯上問題はないか。



深夜の中尊寺通り

町長 警察庁の示す地面の平均照度基準3ルクス以上を確保しているが、地域住民の声に耳を傾けていく。

問 6灯の街路灯のうち1灯しか点灯しない駅前は、イメージダウンではないか。

町長 街路灯組合と協議する。

問 活性化の取り組みは。

町長 関係各所と連携し、地域の活性化を図る。

町長 関係者との協議により、低水位で管理する了解を得た。

問 倒木による被害対策は。

町長 定期パトロールと緊急点検を実施している。私有地の所有者及び関係機関等と協議を行う。

問 貯水量の減少は。

町長 提体を2から3メートル浸食しているところから、残存部分の安全性について、若手県と協議を進めている。

問 公園にするという方針はないのか。

町長 史跡公園として整備する構想はなく、埋蔵文化財包蔵地のまま保存する。

問 景観を損ねているのではないか。

町長 当町は汚染重点区域につき、汚染土を移動することは認められず、浚渫は難しい状況である。

答 安全性を県と協議している

花立ため池の課題解決は

問 町所有のため池が、私有地を侵食している問題は。

町長 堤体を2から3メートル浸食しているところから、残存部分の安全性について、若手県と協議を進めている。



高くそびえる雑木林

人口減少下では、買う人が少なくなるので物が売れなくなります。まずは景気を良くし、賃金を上げるため、消費税を無くす消費喚起から。

議員のひとりごと

鈴木 節郎さん



- 監査委員の意見は大事なので、枠はもっと大きくとってほしい。
- 施設などで、分かりにくい場所は地区名の記載がほしい。



まごめ ともこ 智子さん

- 道路等の場所がわかるように記載してほしい。
- 用語の解説が内容の補足になって良い。
- 「頑張る人」のコーナーは、保存会が頑張っ大切に後継者を育成していることが分かる。

議会だより モニターコーナー

ここを変えたら 議会だより

181号についてご意見をいただきました

小岩 義典さん



- 表紙の地域おこし協力隊メンバーの活動がわかりやすくて良い。
- 一般質問のページは毎回おもしろく見ている。



あさり きよひろ 清廣さん

- 表紙が笑顔だとページを開くのが楽しみになる。
- 歳入歳出のグラフは今後も必要であると思う。
- エピカの活用について、ダンス教室やライブができる等の説明がほしい。



このの あやか 綾華さん

- 決算審査の状況が顔文字で分かりやすい。
- 指定管理者がどのような事を行っているか気になった。
- 議会の活動紹介は写真付きで分かりやすい。